

事後評価調書 【道路事業】

一般国道250号 飾磨バイパス

土木局 道路街路課

事後評価調書

部課室名	県土整備部土木局 道路街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路街路課課長 大住 道生 (副課長兼国道係長 田中 秀典)	内線	4362 (4374)
------	-------------------	---------------------	-----------------------------------	----	----------------

事業種別	道路	事業名	道路改築事業	事業主体	兵庫県
------	----	-----	--------	------	-----

路線名	一般国道 250 号 飾磨バイパス	所在地	姫路市白浜町～飾磨区宮
-----	-------------------	-----	-------------

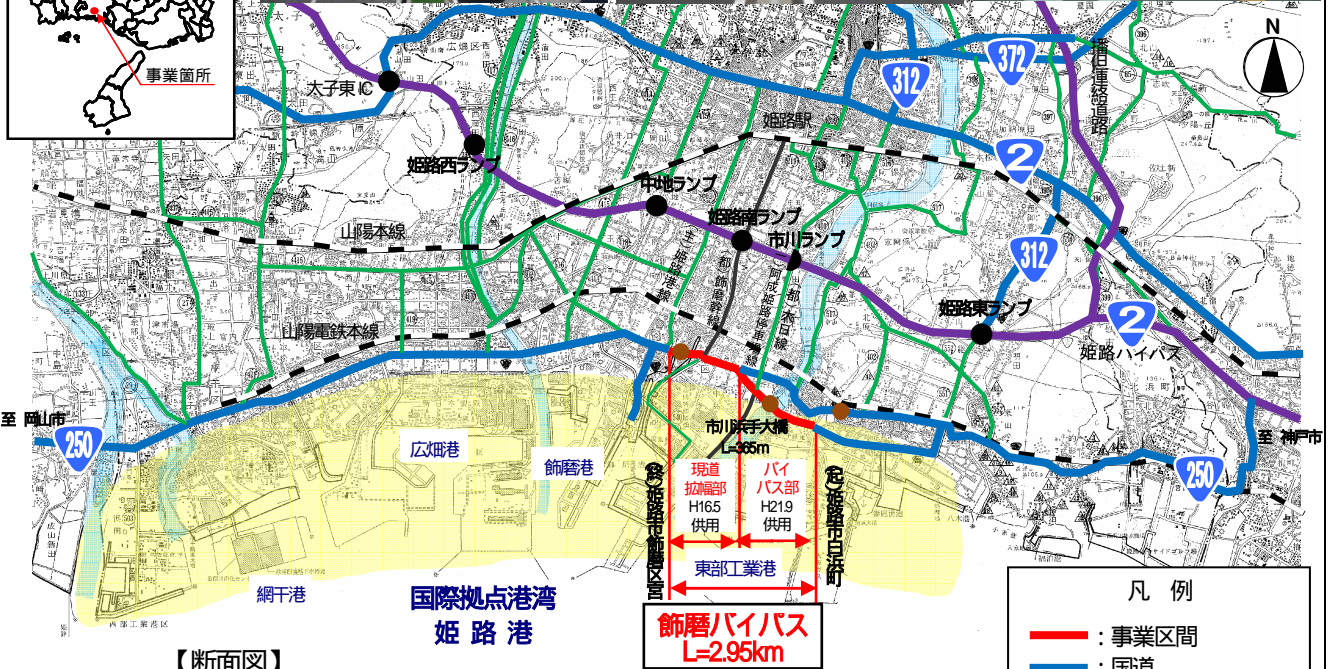
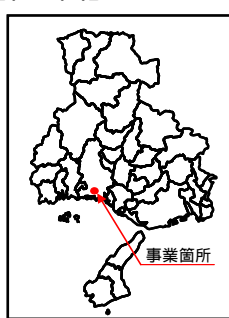
事業目的	事業内容
<ul style="list-style-type: none"> ・ 姫路市域における国道 250 号は、臨海部の工業地帯を結び、産業を支える大動脈であるとともに、地域の生活道路としても利用されており、円滑な交通を確保することにより、産業の発展はもとより、地域の生活の利便性・安全性の向上を図る。 ・ 4 車線への拡幅やバイパス整備により、線形不良の解消を図るとともに、慢性的に発生していた渋滞の解消を図る。 	道路改築事業 L=2,950m (現道拡幅：1,080m、バイパス：1,870m) 【計画幅員】 13.0 (25.0) m (4 車線 + 両側歩道) 【現況幅員】 5.5 (6.5) m (2 車線、歩道未整備) 【計画交通量】 30,900 台 / 日 【現況交通量】 33,797 台 / 日 【負担割合】 国：1 / 2、県 1 / 2

事業期間	計画	平成 2 年度～平成 20 年度	事業費 (用地補償費)	計画	207 億円 (125 億円)
	実績	平成 2 年度～平成 21 年度		実績	200 億円 (125 億円)

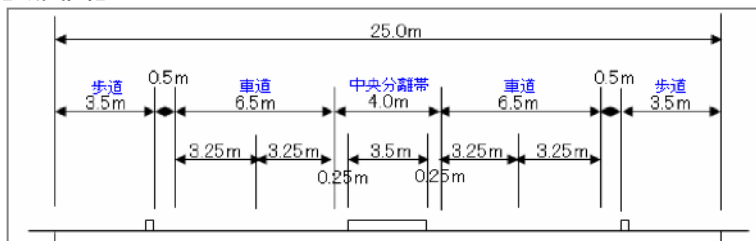
完了年月	平成 21 年 9 月	過去の評価	平成 11 年度 再評価 (継続) 平成 16 年度 再々評価 (継続)
------	-------------	-------	---

事業概要図

【位置図】



【断面図】



事業を取り巻く社会経済情勢等の変化

人口、自動車保有台数の推移

- ・飾磨区の夜間人口は、姫路市全体の人口に比べ増加率が高く、平成2年から約16%の人口増加がみられる。
- ・また、姫路市の自動車保有台数は、約4%増加している。

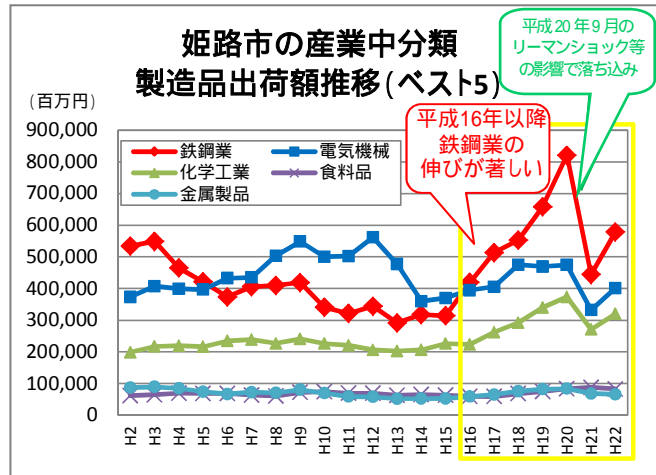
人口 (単位:人)	H2	H24
姫路市(合併後の新市域 ¹)	509,129	533,832 (+4.9%増)
飾磨区	53,302	61,932 (+16.2%増)

1 H18年3月に姫路市と家島町、夢前町、香寺町、安富町が合併

車両保有台数 (単位:台)	H2	H23
姫路市(合併後の新市域 ¹)	321,082	333,298 (+3.8%増)

産業構造及び製造品出荷額の変化

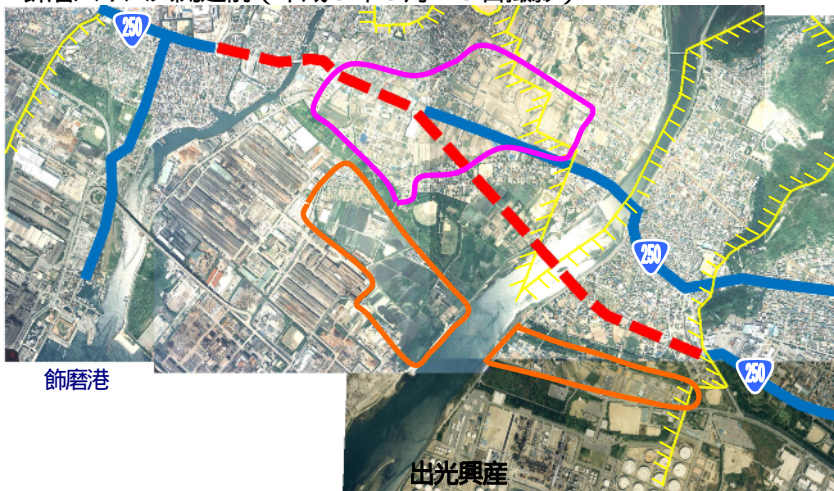
- ・姫路市の製造品出荷額は、平成16年以降、増加傾向にあり、業種別にみると「電気機械」に代わり「鉄鋼業」が1位となっている。



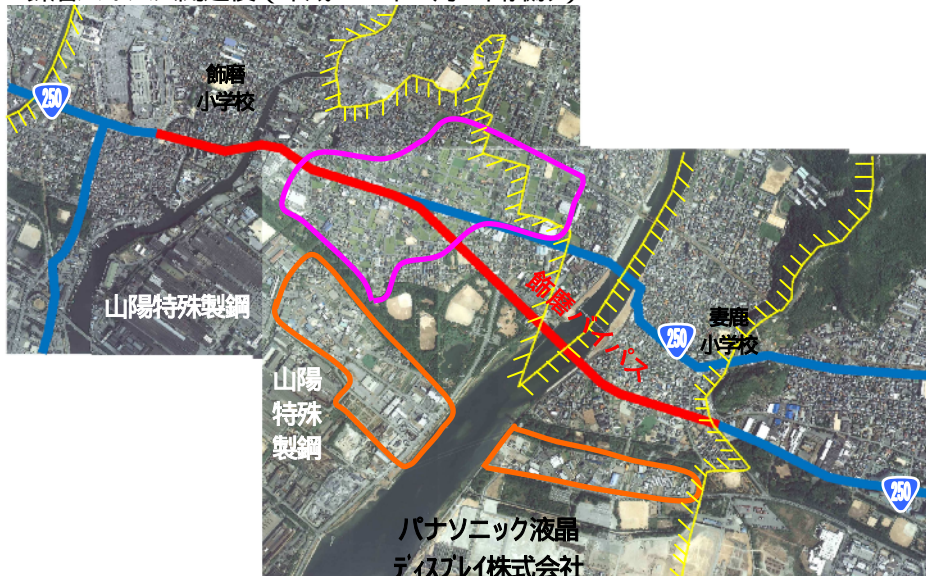
土地利用状況の変化

飾磨バイパス周辺²は、区画整理事業による宅地開発や、大型液晶パネル工場等の進出による企業立地が進んでいる。

飾磨バイパス開通前(平成5年5月25日撮影)



飾磨バイパス開通後(平成22年9月5日撮影)



凡例	
—	: 事業区間
—	: 国道
—	: 宅地開発が進んでいる地域
—	: 企業立地が進んでいる地域
///	: 飾磨バイパス周辺 ²

2 飾磨・妻鹿小学校区

事業の効果の発現状況

想定した整備効果等

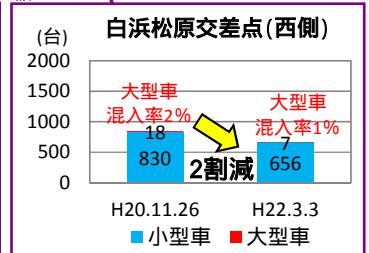
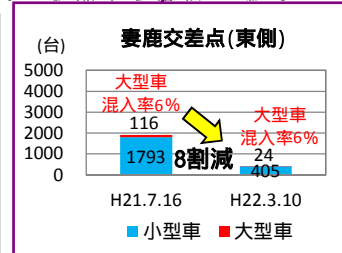
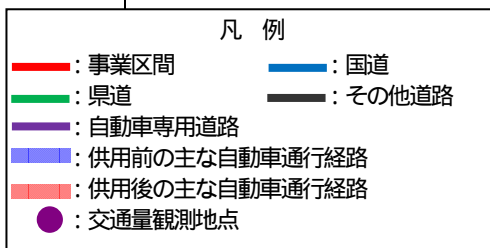
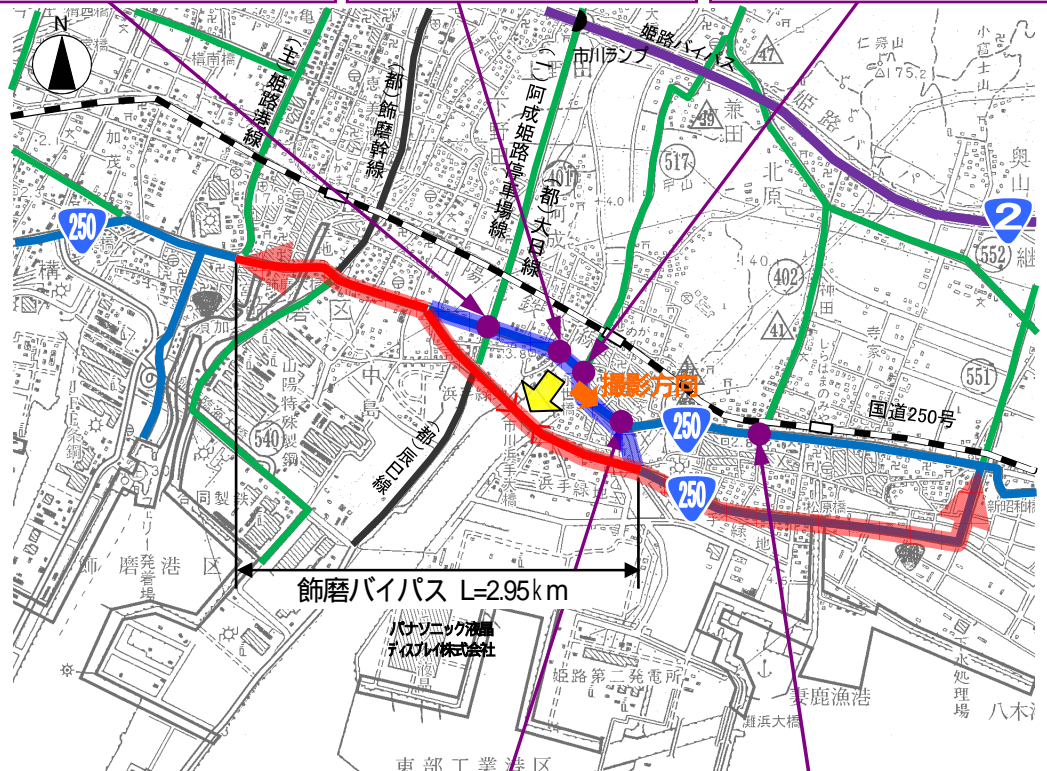
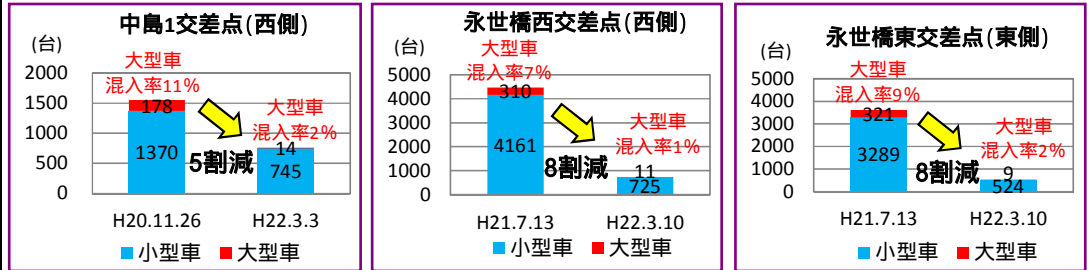
整備後の状況

【直接効果】
交通量の変化

【ピーク時間交通量の変化】

・国道250号旧道区間のピーク時間交通量は、すべての箇所減少しており、永世橋西交差点では、約8割(3,700台)減少している。また、大型車数についても全箇所減少しており、永世橋東交差点で約300台減少している。

飾磨バイパスのピーク時間交通量の変化



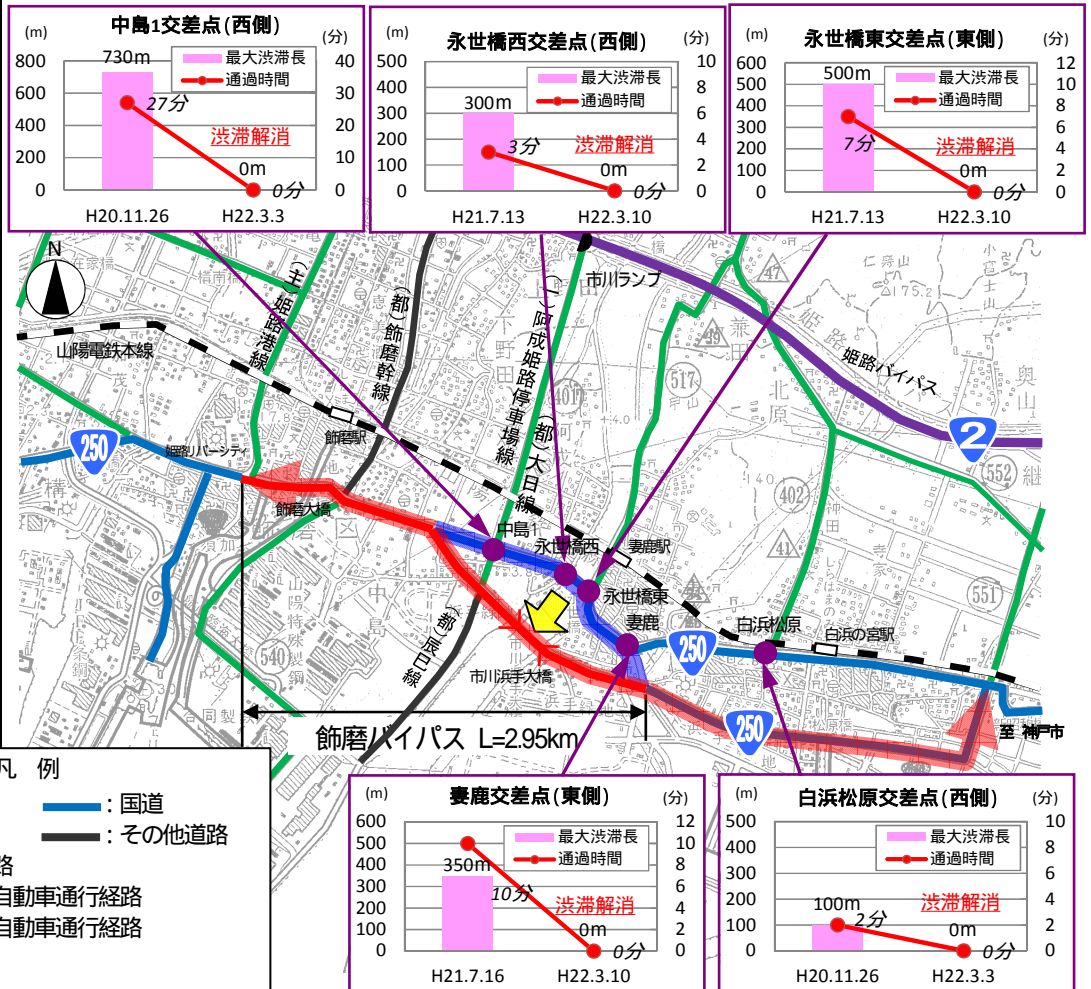
[H24年9月5日撮影]

交通渋滞の解消

【交通渋滞の解消】

- ・渋滞交差点 35箇所（中島1、永世橋西、永世橋東、妻鹿、白浜松原）の交通渋滞は、すべて解消された。
- ・アンケート調査の結果、約9割が飾磨バイパスの整備に効果があったと回答しており、そのうち約6割が渋滞解消を実感している。
3 渋滞交差点：信号待ち3回以上の渋滞が発生している交差点

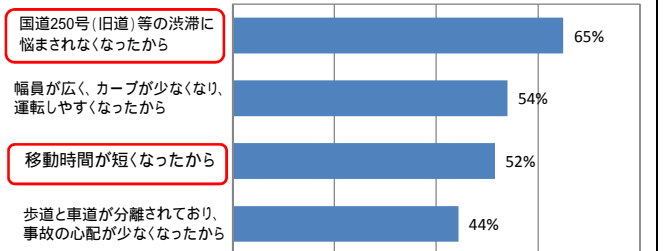
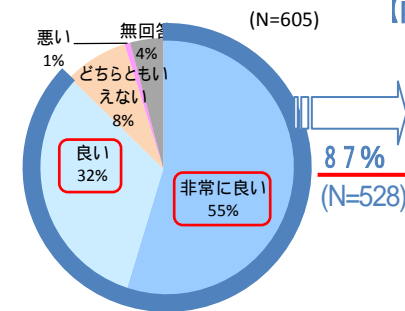
国道250号旧道区間の交通渋滞の変化（最大渋滞長及び通過時間）



<アンケート調査 4結果>

- 約9割の方が飾磨バイパスが整備されてよかったと回答。
- よかった理由として、約7割の方が「国道250号(旧道)等の渋滞に悩まされなくなった」と回答しており、交通混雑の解消を実感。【渋滞の解消】

飾磨バイパスの整備の評価



4 アンケート調査

- ・調査対象：沿道住民、近隣企業、道路利用者、商業施設利用者
- ・調査日：平成24年8月26日
- ・調査方法：沿道住民（戸別配布・郵送回収） 近隣企業（郵送配布・郵送回収） 道路利用者・商業施設利用者（手渡し配布・郵送回収）
- ・回答者数：605人

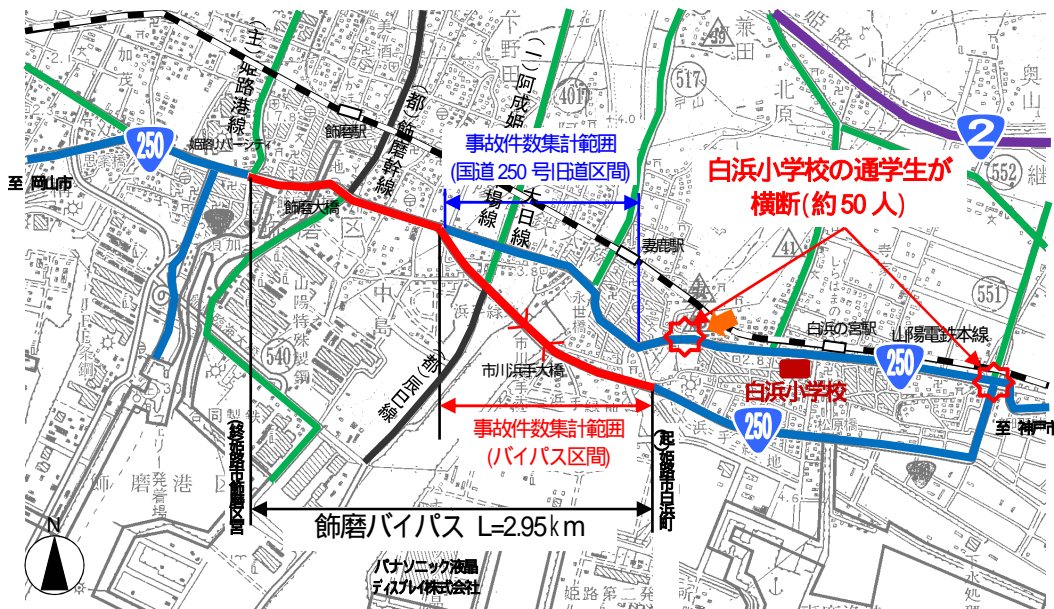
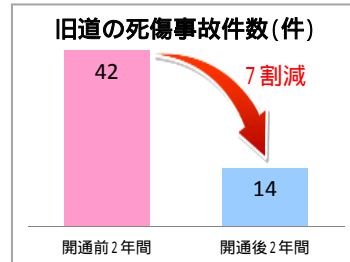
地域の生活の安全性向上

【死傷事故件数の減少】

・飾磨バイパスの供用により、国道 250 号旧道区間の死傷事故件数が約 7 割減少し、安全性が向上した。

死傷事故件数	開通前2年	開通後2年
国道250号旧道区間	42件	14件
バイパス区間		10件

[飾磨バイパス開通日：H21.9.26]



凡例

— : 事業区間 — : 国道 — : 県道 — : その他道路 — : 自動車専用道路



[小学生の通学状況]

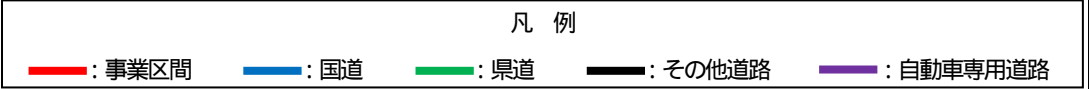
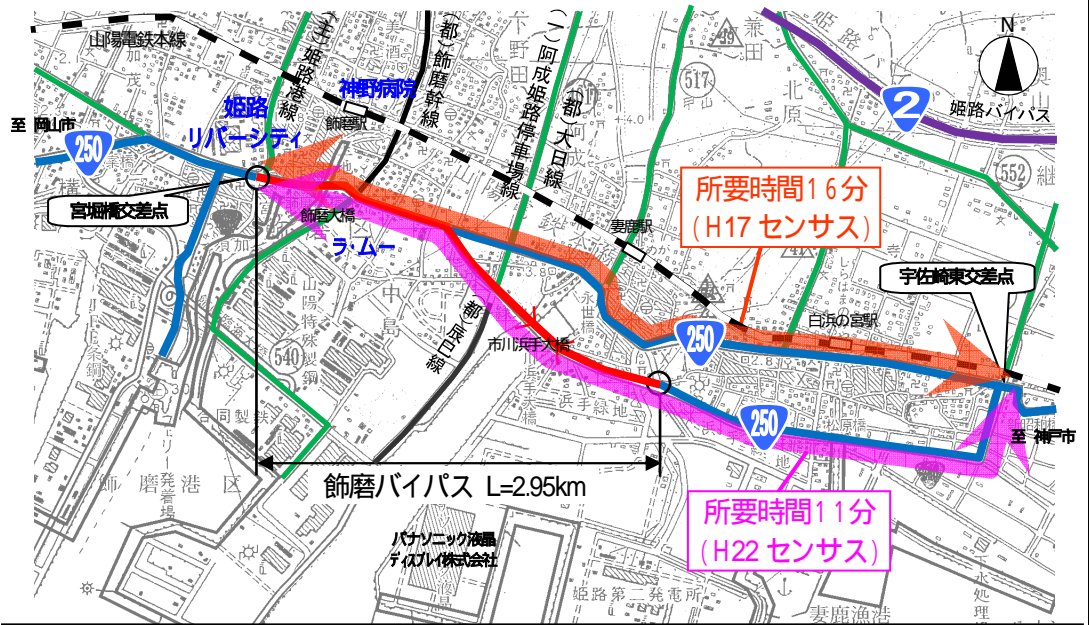
< 白浜小学校ヒアリング結果 >

- 国道 250 号(旧道)の交通量が減少したことにより、旧道を横断する通学生の安全性が向上した。
- 手柄山への遠足時に歩道のない旧道ではなく、歩道が整備され、安全なバイパスを利用するようになった。
【歩行者の安全性向上】

移動時間の短縮

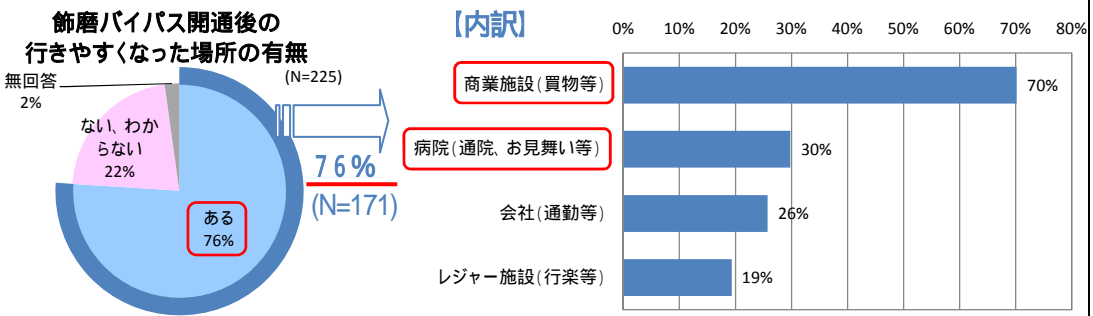
【移動時間の短縮】

- ・宇佐崎東交差点から宮堀橋交差点間の移動時間が、約5分短縮された。
- ・アンケート調査の結果、沿道住民や道路利用者の約8割が飾磨バイパスの整備に効果があったと回答しており、道路の利便性向上や円滑な交通の確保を実感している。



<沿道住民アンケート調査結果>

- 沿道住民の約8割の方が「飾磨バイパス開通によって行きやすくなった場所がある」と回答。行きやすくなった場所として、7割の方が商業施設、3割の方が病院と回答。【生活道路の利便性向上】



<道路利用者アンケート調査結果>

- 道路利用者の約8割の方が飾磨バイパスが開通したことによって「良い影響があった」と回答した。
- よかった影響として、約8割の方が「飾磨バイパスを利用して目的地に早く行けるようになった」と回答しており、円滑な移動を実感。【円滑な交通の確保】

